

THE FRONTIER TIMES Report

スーパーグローバルハイスクール (SGH)アソシエイト 2015年度 活動報告会 開催

名 古屋国際中学校・高等学校は2015年度に文部科学省よりスーパーグローバルハイスクール(SGH)アソシエイトの指定を受けて『SOCIAL ACTION!』で持続可能な開発を担う人材育成プロジェクトをテーマに活動して参りました。このたび1年間のSGHアソシエイト活動の成果を共有することを目的として、以下のプログラムで活動成果報告会を開催いたしました。

日時:2016年2月12日(金)
13:00-16:00

場所:名古屋国際中学校・高等学校

参加者:

【運営指導委員】
北村友人氏(東京大学サステイナビリティ学連携研究機構)
近藤敏夫氏(元アジア開発銀行上級資源エコノミスト)
【管理機関】
植村猛氏(名古屋商科大学コミュニケーション学部長)

県内の教育関係者、連携企業、保護者の皆様にも多数ご参加いただきました。

内 容:

(1) SGHアソシエイト活動の概要報告
(理科教諭 藤井新次郎)

本校が今年度取り組んできた『SOCIAL ACTION!』で持続可能な社会を担う人材育成プロジェクトについて、1年間の活動概要と、成果報告を行いました。また、從来の学校HPにおける情報発信に加えて、今年度立ち上げたデジタルアーカイブスを公開し、更なる情報発信と交流の促進を伝えました。



▲生徒によるSGH活動の成果発表

(2) Kokusai Friend Coffee活動プレゼンテーション
(普通科1年 松木竜君、長谷川慎君、普通科中高一貫4年 山田紀香さん)

「経済活動と貧困」分野において、フェアトレードの観点から貧困問題を捉え、課題解決の手法として独自のドリップバッグコーヒーを作成した取組についてプレゼンテーションを行いました。パッケージデザインや文化祭での販売方法など、「どうすれば社会にフェアトレードを浸透させることができるか」を意識した活動を報告しました。

(3) 卒業生講演『社会課題を解決するバーチャルベンチャーについて』
(普通科中高一貫6期卒業生 辻恵介氏)

本校卒業生であり、現在大学でバーチャルベンチャーを通じて、自転車乗車時に使用できる骨伝導スピーカー



▲教員による本校SGH活動の概要説明と成果報告

FRONTIER SPIRIT BE OUR GUIDE

(5) Diversity Talk

「ウトナイ村」という架空の村で生じている社会課題について「持続可能な開発目標(SDGs)」の視点から、「村にとって一番に解決すべきことは何か」を本校生徒及び学外からの参加者を含んだグループで議論しました。「貧困をなくす」「質の高い教育」「周りと協力する」など、グループによって一番に解決すべきキーワードは様々であり、まさに価値観の多様性に触れる機会になりました。

(6) 講評

(東京大学サステイナビリティ学連携研究機構、東京大学大学院教育学研

究科 准教授 北村友人氏)

1分間の自己紹介で、1分間全てを使って話している人はいなかった。1分間は長い。普通の高校生だから、あまり話すことはないと思っているかもしれない。個性を人に説明するのは難しい。例えば「何かを説明するときには“調べる”ということが言われていたが、1つヒントになるのは“比較”をするということ。比較をすると個性を明らかにできるという、とても良い側面がある。そして比較をするときに大切なのは、どちらかがえらい・どちらかがえらくなということではない。それらは大切なこと。そういうことを皆さんは議論していたと思う。「調べ



▲Pre-SGH中学生の取り組みの発表

る」ということは、SGHが大事にしていること。SGHでは「研究する」ことが非常に大事にされている。研究の面白さは、どういう面で役に立ち、どういう面で役に立たないのかなどの特徴を明らかにしていくところにある。これが研究の第一歩。SGHは研究の世界に入っていく第一歩だと思っている。

中学生や高校生の方に、よく聞かれることは「自分たちに今何ができるか」ということ。みなさんの中にも色んなところへ行って、NGOの方々に話を聞いたり、活動に参加した方がいるだろう。それはとても素晴らしい。それとともに高校生のみなさんに行ってほしいことは、「勉強をしてほしい」ということ。どのように勉強するか。一番早いのは、新聞を読むこと。国内の



▲大学の先生や社会人との交流・グループワーク

発 行 名古屋国際中学校
NAGOYA INTERNATIONAL JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

所在地 〒466-0841 名古屋市昭和区広路本町1-16
発行年 4年回

TIMES 設置協力協力
名古屋国際中学校・高等学校事務局前/名古屋商科大学 地域活性化研究センター/名古屋商科大学 中央情報センター/
独立行政法人国際協力機構中部国際センター/認定NPO法人ICAN

広報紙『THE FRONTIER TIMES』に関するご意見・ご感想は frontiertimes@nihs.ed.jpまでお送りください。本紙に掲載されている記事、画像など全てのコンテンツの著作権は名古屋国際中学校・高等学校に帰属します。私的使用以外の目的で複写・複製することはできません。
201604015000

FRONTIER SPIRIT BE OUR GUIDE



THE FRONTIER TIMES

[ザ・フロンティア・タイムズ]



▲2016年2月12日 スーパーグローバルハイスクール(SGH)アソシエイト活動報告会

[Aiming for the World's Best Universities]

NIHS recently published Next Frontier 2025, a strategic plan that envisions the school's growth and improvement over the next ten years in its quest to become a truly great school. In that document, we announced our intention to send, during this period, at least 250 of our students to Super Global Universities (SGU) here in Japan and at least 55 of our students to top-200 universities identified in the Times Higher Education annual World University Rankings.

The SGU project was initiated in 2014 and seeks to assist leading Japanese universities to break into the top echelon of universities worldwide. Such an achievement will, policymakers believe, encourage more foreign professors and students to conduct research, to teach and to study at Japanese universities. It will also help graduates assume positions of global leadership and contribute to the internationalization of Japanese society by cultivating international mindedness in its young people.

The Times Higher Education list is a ranking of world-class universities based on their core missions—teaching, research, knowledge transfer and international outlook. Currently, only two Japanese universities—the University of Tokyo and Kyoto University—rank in the top-200 list, though as many as a dozen more could enter this top tier in the near future with the right kind of vision, governance and support.

Why does NIHS seek to steer our graduates to the world's best universities? There are many reasons for our establishing this goal. In the first place, courses at the world's elite universities are famously rigorous and challenging. These universities also offer students access to unparalleled resources—superior libraries, innovative learning spaces, cutting-edge technology, state-of-the-art laboratories, creative research facilities, archives, partnerships with other elite universities and a network of important and influential alumnae.

Still, the most important reason for sending our students to these universities is that they will not only have the chance to learn from brilliant and famous professors, but will also have the privilege of interacting in and out of the classroom with some of the most gifted and interesting young people from around the world.

Students at these elite universities are truly accomplished. To win admission, they have had to make an exceptionally strong case to admissions committees that they are special. They are young people who not only have earned good grades and high scores on proficiency and aptitude tests but who also strive to make a difference in the world and possess the skills and vision to do so.

This is the company we want our graduates to keep as they prepare to meet the unique challenges with which our world now presents us.